

安全データシート

製品名: Acrylamide-bis ready-to-use solution 40% (37.5:1) for electrophoresis

作成日 2001年12月03日
改訂日 2014年01月30日

1. 化学品及び会社情報

製品番号 : 100638
製品名 : Acrylamide-bis ready-to-use solution 40% (37.5:1) for electrophoresis
製品名 : アクリルアミド-ビス 調製済 40%溶液 (37.5:1) 電気泳動用
会社名 : メルク株式会社
住所 : 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー
製品取扱部門 : メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門 : EQJ部 EHSグループ
電話番号 : 03-5434-5267
FAX番号 : 03-5434-5391
製造元 : Merck KGaA

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分3
急性毒性 (経皮)	: 区分4
急性毒性 (吸入)	: 区分4
皮膚腐食性/刺激性	: 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分2
皮膚感作性	: 区分1
生殖細胞変異原性	: 区分1B
発がん性	: 区分1B
生殖毒性	: 区分2
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 区分1

シンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報

H301 飲み込むと有毒
H312+H332 皮膚に接触したり吸入すると有害
H315 皮膚刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激
H340 遺伝性疾患のおそれ
H350 発がんのおそれ
H361 生殖能または胎児に悪影響のおそれの疑い
H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害

注意書き

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P281 指定された個人用保護具を使用すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
P305+P351 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。
P308+P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の診断/手当を受けること。
P338 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

製品番号 : 100638
製造元 : Merck KGaA
製品名 : Acrylamide-bis ready-to-use solution 40% (37.5:1) for electrophoresis



作成日 2001年12月03日
改訂日 2014年01月30日

3. 組成及び成分情報

単一物・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	官報公示整理番号 (安衛法)	C A S 番号	E C 番号
アクリルアミド	37.7%	$\text{CH}_2\text{CHCONH}_2$	(2)-1014	公表	79-06-1	201-173-7

4. 応急措置

吸入した場合：

被害者を直ちに暴露した場所から空気の新鮮な場所に移動させる。
呼吸が止まっている場合は、人工呼吸を行う。
必要ならば、酸素吸入を行う。
直ちに医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：

多量の水で洗い流す。
ポリエチレングリコール等の軟膏を塗布する。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
直ちに医師の診察を受ける。

眼に入った場合：

多量の水で瞼を開けたまま、最低10分間洗浄する。
眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

大量の水を与える。
直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：

周辺の貯蔵品に適用される消火剤

特有の危険有害性：

不燃性
火災時に有害な蒸気を発生する。

副生成物：

窒素酸化物

消火を行う者の保護：

適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：

窒息消火する。
消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

蒸気を吸い込まないように注意する。
漏出物との接触を避ける。
室内で漏洩した場合には換気をよくする。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：

製品番号 : 100638
製造元 : Merck KGaA
製品名 : Acrylamide-bis ready-to-use solution 40% (37.5:1) for electrophoresis



作成日 2001年12月03日
改訂日 2014年01月30日

下水施設に流してはならない。

回収・中和等：

吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

密閉化した設備または局所排気を用いる。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

保管：

容器は気密性を保つ。
換気のよい場所に保管する。
冷所 (2~8℃) で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：

設備対策：

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。
密閉化した設備または局所排気を用いる。

衛生対策：

眼、皮膚および衣服に触れないようにする。
吸入を避ける。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為スキนครリームを使用する。
作業中は、飲食、喫煙を行ってはならない。

保護具：

呼吸用保護具：

蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

その他：

適切な保護服・保護手袋・保護眼鏡等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形 状	：	液体
色	：	無色
臭	：	無臭
密度	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
沸点	：	データなし
引火点	：	データなし
自然発火点	：	データなし
爆発限界	：	下限 データなし 上限 データなし
溶解性	：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 :

重合しやすい。

危険有害反応可能性 :

発熱するおそれ:

アルカリ、硫酸

重合するおそれ:

酸化剤

ニトロソアミンを生成する。

避けるべき条件 :

光、熱

11. 有害性情報

急性毒性 :

LD50 (dermal/rabbit) : 252mg/Kg

LD50 (oral/rat) : 124mg/Kg

皮膚に付着、目に入った場合 :

皮膚を刺激する。

皮膚から吸収されるおそれがある。

皮膚アレルギー反応のおそれがある。

眼を刺激する。

吸入した場合 :

粘膜を刺激し、咳、呼吸困難をおこすおそれがある。

吸収された場合 :

中枢神経障害をおこす。

大量の場合、運動失調のおそれがある。

飲み込んだ場合 :

口腔、咽頭、食道、胃腸管を刺激する。

遺伝毒性等 :

動物実験において、発がん性が確認されている。

動物実験より、ヒトへの生殖障害が予測される。

動物実験により、ヒトへの遺伝的損傷が予測される。

亜硝酸または硝酸と反応して、動物実験において発がん性が認められるニトロソアミンを生成するおそれがある。

その他の有害性 :

この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための十分な知見はない。

12. 環境影響情報

生態毒性 :

LC50 100 mg/l (96h)

ブルーギル

EC50 98 mg/l (48h)

ミジンコ

IC50 72 mg/l

藻類

EC50 13500 mg/l

細菌 (フォトバクテリウム属)

製品番号 : 100638
製造元 : Merck KGaA
製品名 : Acrylamide-bis ready-to-use solution 40% (37.5:1) for electrophoresis



作成日 2001年12月03日
改訂日 2014年01月30日

残留性・分解性：
良分解性である。

その他：
水生生物に悪影響を与える。
自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号： 3426
品名： ACRYLAMIDE SOLUTION
クラス： 6.1/III

国内規制：
毒物及び劇物取締法：医薬用外劇物 （アクリルアミド）

安全対策：
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

アクリルアミド
毒物及び劇物取締法：劇物 政令番号：指定劇物 1-3
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)：第1種指定化学物質 政令番号：2
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律：優先評価化学物質
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質
労働安全衛生法第57条：表示対象物質
労働安全衛生法特化則：第2類物質

1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい